

小学校 6年

つなげよう一つのお話

河内長野市立川上小学校

教科

国語

単元名

つないで、つないで、一つのお話

本時のねらい

話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができる。また、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

物語を聞くだけでなく、学習者用端末を使い、物語を可視化し、それを共有することで、よりよい表現に気付くことをねらいとした。また、他の班がつくった物語の「よかったところ」や「アドバイス」を伝え合う活動を通して、自分と友だちの表現の違いや多様な表現の仕方があることに気付くことをねらいとした。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・学習者用端末（Chromebook）
- ・文書作成ソフト（Google ドキュメント）
- ・学習支援ソフト（Google Jamboard）
- ・プロジェクター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 5（分）	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をつかむ 「班で一つのお話を作り、他の班のつくったお話を読んで、感想を伝え合おう」 ○前時までに決めた、最初と最後の一文の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを使い、教員用端末の画面をスクリーンに投影し、前時までに行った活動（最初と最後の一文など）を振り返る。 ・プロジェクターを使い、教員用端末の画面をスクリーンに投影し、本時の学習活動の見通しをもつ。
展開 30（分）	<ul style="list-style-type: none"> ○班で協力して、お話をつくる。 ・学習支援ソフトを使い、班でお話を作る。 ○各班で作ったお話を読み合い、「よかったところ」と「アドバイス」について考える。 ・学習支援ソフトで共有する。 ○個人で感想を考える。 ・学習支援ソフトの付箋を確認しながら、クラスメイトの意見をもとに自分の考えを書く。 ○班で感想を考える。 ・個人で考えた感想をもとに班で話し合い、班としての感想をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトの共同編集機能を使い、班でお話をつくる。 ・班の中で一文ずつ順番に交代しながらお話がつながるように書き込んでいき、班の中で3周（1人3文）する中で最初の一文と最後の一文がつながるように考える。 ・教員が、各班がつくったお話をスクリーンショットで切り取り、学習支援ソフトでそれぞれの班のフレームに貼りつける。 ・学習支援ソフトに貼り付けた他の班のお話を個人で黙読する。次に共同編集機能を使い、そのお話の「よかったところ」・「アドバイス」等を考え、付箋機能を使って書き込み、それぞれの班のフレームに貼る。 ・自分の班のフレームに貼られている付箋でクラスメイトの意見を確認し、今回の活動に対する自分の感想をワークシートに書く。 ・個人で考えた感想を班で交流し、班ごとの感想をまとめ、学習支援ソフトの自分の班のフレームにテキストボックスを使って感想を書き込む。
まとめ 10（分）	<ul style="list-style-type: none"> ○他の班で「よかったところ」と「アドバイス」を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ソフトを用いて、班で考えた文章を確認しながら、感想を発表する。

1人1台端末を活用した活動の様子

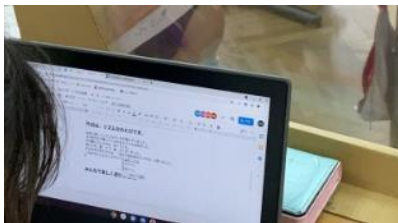


写真1：文書作成ソフトを使いお話をついている場面



写真2：学習支援ソフトに貼り付けられた付箋を見て感想をまとめている場面



写真3：個人の考えた感想を学習支援ソフトで共有している場面

児童生徒の反応や変容

各班がつくったお話を全員で瞬時に共有することができたので、友だちの表現の工夫を数多く知ることができた。発表でも意見が多く飛び交い、1時間を通して意欲的に取り組むことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

つくったお話を聞いて終わるだけでなく、学習者用端末を使い、互いに感想やアドバイスを伝え合うことで、一部の児童の意見だけでなく、多様な意見にも即座に触れることができたことで、学びが深まった。